

いしのみき 社協だより

編集と発行 社会福祉法人 石巻社会福祉協議会

令和8年3月26日

第105号

〒986-0825 石巻市穀町15-2

TEL 0225 (96) 5290(代)

FAX 0225 (96) 5223

<https://www.ishinomaki-shakyo.or.jp>



特集 あれから20年～変わるもの、変わらない想い～



絵てがみサークル ふきのとう

この広報は、みなさまからの会費と赤い羽根共同募金配分金の一部により発行しています。

20年のあゆみ



社協だより創刊号
(平成17年6月発行)

平成17年4月1日

石巻地域の1市6町が合併し、新しい石巻市社会福祉協議会が誕生しました。あれから早いもので20年が経過しました。

今号では、これまでの社協だよりを振り返り、みなさんの現在(いま)の想いを紹介し、これからの地域福祉を考えます。

絵てがみサークルふきのとう～贈る想い～



社協だより第7号
(平成19年1月発行)



立ち上げ：平成12年頃
活動期間：約26年
活動場所：牡鹿地区
メンバー：10名

地域にあふれる笑顔(表紙より)

今号の表紙は、19年前も社協だよりの表紙に登場した、『絵てがみサークルふきのとう』のみなさんです。

お互いの絵手紙を見ながら、和やかに語り合う姿が印象的でした。

『絵てがみサークルふきのとう』って？

『絵てがみサークルふきのとう』は、月に1回、石巻市牡鹿保健福祉センター清優館に集まり、絵手紙を受け取る方の笑顔を想いながら描いています。絵手紙は、石巻市社協牡鹿支所で行っている声がけ郵便事業や給食サービスを通して、牡鹿地区にお住まいの一人暮らし高齢者等に贈られます。

絵手紙を通したつながり

「描いた絵手紙は、誰に届くか分からないけれど、ときには、いつもありがとうと声を掛けてもらうこともあり、大きな励みになっている」と話されていました。

また、3年前から年に1回、石巻市立牡鹿中学校の生徒のみなさんに絵手紙を教え、一緒に贈る活動をしています。昨年度は、能登半島地震で被災された方々へ応援の絵手紙を贈りました。

絵手紙は、地域との交流を深めるとともに、離れていても心と心をつなぐきっかけにもなっています。



ながーく続けてこられたのは？

活動を始めてから約26年。ふきのとうのメンバーは増えたり減ったりを繰り返しながら歩んできました。一時期は、二人だけで活動することもありましたが『たとえ一人でも来たら絵手紙を描く』『無理をしない』という想いを大切に活動を続けています。

そして一番は、「絵手紙を描くことが好きで楽しい、みんなで活動する時間が楽しいから続けてこられた」と話されていました。好きなことをみんなで行うことが、楽しみとなり、活動の原動力となっているようです。



『桜が見てきたみんなのあゆみ』



社協だより第45号
(平成28年3月10日発行)

東日本大震災の記憶・多くの失われた尊い命。立ち上がる人々の力強さを、日本人が愛してやまない桜で、100年後の未来まで伝えるための植樹活動。

土に込めた復興への願いや想いは、年月を重ねながら少しずつ形になってきました。あの日の写真を振り返りながら、桜に託した気持ちを改めてたどります。

『チームわたほい』 渡波地区

10years



『チームわたほい』
のみなさん
令和8年2月撮影

『チームわたほい』は渡波地区の小さな避難所で、助け合った仲間たちが、お互いを支え合いながら、県内外からのボランティアの受け入れや活動の手伝いを行うために、遠藤さん夫妻が中心となり立ち上げられた団体です。被災後、さみしさの残る地域に「あたたかな居場所をつくりたい」との想いから、遠藤さん宅跡地に『希望の桜』を植えました。

その桜は、一昨年から少しずつ花を咲かせ、3月11日には桜のもとに多くの人が集まるようになりました。この場所から見える山に咲く桜と、みんなで植えた桜が重なり合う景色はとても美しく、ここを訪れる皆さんとともに、これからも見守り続けていきたい、大切な風景となっています。

『針岡間垣さくら広場』 河北地区

『針岡間垣さくら広場』は、甚大な被害を受けた大川地区の災害危険区域に整備された慰霊公園です。この場所を大切に守り続けている間垣慰霊碑保存会が中心となり101本の桜が植樹されました。

「いつかはまた、笑顔の多い場所にしたい」「この桜が大きくなったら、ここでみんなで花見をしたい」そんな願いとともに、7年経った今も大切に育てられ、訪れた人々が静かに手を合わせ、思い出を語り合う場となっています。

シンボルツリーの傍らに刻まれた『間垣の地を見守る慰霊桜』という言葉には、ここが心の故郷であり続けること、この地を離れた方々も再び訪れる場所となり、地域の絆を未来へとつないでいきたいという想いが込められています。



令和8年2月撮影



平成31年3月撮影

間垣慰霊碑保存会
事務局長 遠藤 仁雄さん

石巻に植えられた桜の豆知識

桜の植樹を支援して下さった支援団体さんにお聞きしました!

エドヒガン

日本に自生するバラ科サクラ属の基本野生種のひとつ。野生種のため病気に強く、手入れの手間も少ないことから、100年先も長く咲き続けるといわれています。将来にわたって管理の負担が少なく、地域の皆さんに寄り添いながら後世へ受け継がれていくことを願って選ばれました。

河津桜

バラ科サクラ属のサクラで、オオシマザクラとカンザクラの自然交雑から生まれた日本原産のサクラです。早咲きで、3月上旬に花を咲かせるのが特徴です。「3月11日に咲くサクラを地域に植えたい」という特別な想いをもとに選ばれました。



想いの郷プロジェクト
代表 吉武 信幸さん

特集『あれから20年～変わるもの、変わらない想い～』

これまでの社協だよりに登場した方々や団体は、この20年どのようなあゆみを続けてきたのでしょうか。本特集では、当時の取り組みを振り返りながら、活動の現在地や地域に生まれた変化を追いました。



社協だより第50号
(平成29年1月発行)

活動場所：石巻地区
立ち上げ：平成28年7月
活動期間：9年
メンバー：9名



中央第二復興公営住宅 ひまわりサロン

～ここで、みんなと生きる～

9years



ひまわりサロンのメンバー

「わたしたちでできる形」

サロンが立ち上がって2年目に、社協だより50号に掲載されました。「オレ会計やっから！」(80代男性)、「んじゃ、私鍵の開け閉めやるわ！」(90代女性)と、それぞれができることを分担し、サロンが運営されてきました。毎月1回、お互いに声をかけ合って集まり、和やかな時間を過ごしています。

「子どもの姿見なくなったよねえ」

サロンが立ち上がった頃は、夏休み期間に、子どもたちが集会所に集まって宿題をやっていました。そんな子どもたちも成長し、少し静かになった復興公営住宅。小さな子どもがほとんどいなくなったことが、この9年の変化です。

「新たな出会いと変わらない想い」

そんな中で新しい出会いも生まれています。数年前よりウクライナから避難してきているイリナさん家族。震災と戦争、避難の辛さがわかる同士だからこそ想いが通じ、交流が続いています。

そして、サロンをきっかけに始まった支え合いは、今でも変わらず続いています。おかずをおすぞ分けしたり、姿が見えないと心配で声をかけに行ったり。「ここで暮らしていくんだから、みんなで協力して楽しく盛り上げていこうよ！」9年前にみんなが話したこの言葉は、今も変わらず、活動の原動力になっています。



社協だより第32号
(平成25年10月発行)

活動場所：石巻市内
立ち上げ：平成16年
活動期間：21年
メンバー：5名

足もみボランティア『スマイルハート』

足は生きるための土台
～自分の健康は自分で守る～

13years



いしばし
石橋 ます子さん

「足を見るとその人の心が見える。足をもみ、心を整え、また一步を踏み出してほしい」

平成25年の社協だより32号では、仮設住宅でセルフケアを伝える姿が紹介されました。牡鹿町出身のます子さんは、親の介護と子育てが重なった、今でいう『ダブルケア』を経験し、ひと段落した平成17年、子どもたちから「好きなことをやってみたら」と言われ、興味があったリンパマッサージの資格を取得しました。その後、日本若石健康研究会の初級認定プロ講師として活動をスタート。「介護保険のない時代、お医者さんや近所の方に本当に助けられたの。だから何か恩返しがあった」と当時の思いを振り返ります。

震災後は、仮設住宅を中心に約4年間200回近くボランティア活動を続けました。

過去の社協だよりは、こちらからご覧いただけます→



社協だより第10号
(平成19年10月発行)

「北上カットサークル」

髪を切りに行くだけじゃない
～その人の心に届くような活動を～

18years



鈴木 昭子さん 佐々木 こう子さん

活動場所：北上地区
立ち上げ：平成8年4月
活動期間：30年
メンバー：2名

「魔法の武器は、はさみと会話～髪も心もすっきりと～」

今から18年前、社協だより10号の表紙で紹介されたこの活動。きっかけは、美容組合のボランティア活動への参加でした。「北上の施設の人は、髪切るの困ってねんだべが」そんな、ふとした“気にかかる気持ち”が始まりでした。地区内の理美容室に声を掛け、集まったのは7～8人の仲間たち。当時は、デイサービスで月2回、グループホームで月1回、はさみを手に会話を交わしながら、一人ひとりに向き合う時間を重ねてきました。



「東日本大震災、そしてコロナ禍」

続けることが当たり前ではない時期もありましたが、無理のない形を探しながら、現在は月1回グループホームきたかみで、お店の定休日である月曜日を利用して活動を続けています。変わったのは、メンバーや場所と回数。けれど変わらないのは「施設に入っても、髪を整え、喋ることでこれまでと変わらない日常を感じてもらいたい」という想いです。2人が大切にしているのは、はさみと同じくらい会話の時間。相手の不安にそっと寄り添い、話を聴く姿勢は、立ち上げ当初から変わっていません。



「髪は、誰でも伸びるもの」

だからこそ、この活動は、日々の暮らしに自然な形で寄り添い続けています。「元気ももらっているのは、私たちの方なの」と2人は微笑みます。「パーマ屋さんありがとね！」の言葉を聞くと、「まだまだやめられない」待っている人がいる限り、続けていきます。

今も、復興公営住宅や子育て支援センターなどで、足もみを通して、自分自身と向き合うきっかけを伝え続けています。

孫にとっての「自慢のばあば」

震災の年に生まれた孫が、ボランティアに興味をもってきていることも嬉しい変化のひとつです。「変わったのは年齢、変わらないのは笑顔に出会える喜び」と笑います。これからも無理なく、自分の体と相談しながら、想いを次の世代へつないでいきます。



『これまでのあゆみを力に、これからも地域とともに』

～未来へ向け、社協は地域のみなさんとともに歩み続けます～

私が福祉の道を志すようになったきっかけは、大学時代に所属していたボランティアサークルでの活動でした。何気なく参加した障害者施設への訪問で出会った利用者の方々と関わる中で、それまで抱いていた『支援する側・される側』という考え方を大きく変えるものでした。共に過ごす時間の中で、支え合うことの大切さや、一人の人として向き合うことの大切さを学びました。その経験をきっかけに、合併前の雄勝町社協(当時)に入職し、障害者施設の職員として働き始めました。現場では戸惑いや失敗を重ねながらも、利用者一人ひとりと向き合い、日々の小さな変化や成長に喜びを感じてきました。

あれから20年以上が経った今も、『相手の想いを大切にする姿勢』は私の原点であり、これからも、石巻市社協の職員として地域に根ざした支援を大切にしながら、次の世代へとその想いをつないでいきたいと考えています。



雄勝支所職員
たてわき まさゆき
館脇 正行

社協だより第13号
(平成20年7月10日掲載)



みどり園職員
ねもと ひろみ
根本 裕美

社協だより第14号
(平成20年10月14日掲載)

合併前、私は桃生牡鹿地方社協という郡社協に勤務し、桃生郡、牡鹿郡の9町社協が合同で行う事業の企画・運営の業務を担当していました。

平成17年4月1日の市町村合併に伴い、地方社協が解散することになり、新石巻市社会福祉協議会に採用されました。当時の地域福祉推進課(現在の地域福祉課)福祉団体指導係に配属され、今までとはまた違う社協の事業や福祉団体の事業に毎日ワクワク、ドキドキ。沢山の方々に出会い、仕事の楽しさと大変さを学ぶことができました。私の人生の宝となっています。

あれから20年。現在は、障害をお持ちの方の施設、石巻市社協みどり園に勤務し、石巻市指定のごみ袋加工販売など、利用者さん個々の能力に合わせた作業の提供や、ボーリング体験やカラオケなどの社会参加活動も実施しています。これからも、一人ひとりに寄り添いながら、その人らしい暮らしを支えていきます。

ありがとうのカタチ

ひろがる善意の輪 令和7年12月1日～令和8年1月31日までの受付分

- 石巻支所
 - ・元倉町内会 様
 - ・石川弘 様
 - ・シャンティ西野裕子 様
 - ・石巻ライオンズクラブ 様
 - ・石巻東ロータリークラブ 様
 - ・JAいしのまき河南地域本部 様
 - ・ギャラリーカフェ・ヌーン 様
 - ・国際ソロプチミスト石巻 様
 - ・石巻南ロータリークラブ 様
 - ・株式会社丸本組 様
 - ・まーくん&よっしー 様
 - ・相澤政助 様
 - ・住吉大島神社 様
 - ・石巻市稲井地区民生委員
児童委員協議会 様
 - ・上釜町内会 様
 - ・税理士法人平塚丸岡合同事務所 様
 - ・日本製紙石巻サポート株式会社 様
- ・公益社団法人石巻法人会女性部会 様
- ・匿名5件
- 河北支所
 - ・渡辺仁義 様
 - ・匿名1件
- 河南支所
 - ・匿名1件
- 牡鹿支所
 - ・洞福寺 様
- かしわホーム
 - ・株式会社ナリサワ電気河北営業所 様
 - ・東北電子工業株式会社河南工場 様
 - ・河北ライティングソリューションズ
株式会社 様



みなさまからお寄せいただきました寄附金、寄附物品につきましては、各種サロン助成等や地域福祉事業に活用させていただきます。ご寄附につきましては随時受け付けておりますので、みなさまからのあたたかいご支援をよろしくお願いいたします。

ボランティアセンター通信

お知らせ



令和8年度 ボランティア保険

加入手続き
受付開始
3月16日(月)～

ボランティア活動や地域福祉活動を安心して行っていただくため、活動中の「もしも」に備え、ぜひご利用ください。

ボランティア活動保険	補償期間	申込日の翌日からその年度末(令和9年3月31日)まで ※令和8年3月31日までの受付については令和8年4月1日から補償開始	
	補償内容	ボランティア自身のケガ、他人にケガをさせてしまった、人の物を壊してしまった場合の損害賠償など	
	保険料	300円から800円(5種類のプランがあります)	
行事保険	補償内容	行事参加者のケガや賠償責任補償など	
	保険料	宿泊なし	30円～(行事内容により異なります) ※最低20名分からの加入となります。
		宿泊あり	227円～宿泊数により異なります
※1回の行事ごとの個別申込と、年間一括申込があります			

教えて!

ボランティア
保険の実際



加入状況		請求状況
ボランティア保険	3,066名	1件
行事保険	357件	(内訳：行事保険)

石巻市社協受付分：令和8年1月31日時点

加入者の声

『趣味の手品』でボランティア活動を始めため保険に加入しました。ボランティア活動は、自分の意思で始める活動ですが自己責任も伴います。活動中のケガや事故が不安でしたが、今は安心して活動することができています。



個人登録ボランティア
(釜・大街道地区)
すずぽん
鈴木 隆一さん

毎年、運営スタッフはボランティア保険、サロン参加者は行事保険を掛けています。以前、片付けの際に備品を倒してしまったことがあり、保険に助けられました。備えがあることで、安心して集えることができています。



みんなのエプロン隊(住吉地区)
やすたけ きみえ
会長 安竹 喜美江さん

お知らせ



令和8年度社協各種助成金 4月1日(水)より受付を開始します。

令和7年度分の
報告書提出もお忘れなく!
報告期限 4月17日(金)

助成金種類

- 地域福祉活動助成金(サロン活動助成)
- 子育てサークル助成金
(助成額1万円/年)
- 福祉団体・ボランティア団体活動助成金
(助成額2万円/年)

受付期限

- 4月1日(水)から
7月31日(金)まで
※規定上限に達し次第
受付終了となります。

詳細



申請書の
ダウンロードはこちらから

おらいのアイドル

いしのまき社協だより ⑧



釜・大街道地区
こばやし りん たろう
小林 倫太郎ちゃん



蛇田地区
さとう しゅうま
佐藤 秀真ちゃん



蛇田地区
あかま ゆの
赤間 結乃ちゃん



蛇田地区
みうら あお
三浦 蒼央ちゃん



桃生地区
ささき ひなた
佐々木 陽詩ちゃん



蛇田地区
かとう せい
加藤 惺ちゃん



渡波地区
ちば いむ
千葉 偉六ちゃん
のい
叶偉ちゃん



河北地区
さんじょう じゅな
三條 珠椰ちゃん



稲井地区
おば みつき
大場 光葵ちゃん
いちか
一華ちゃん



蛇田地区
まつもと ななみ
松元 七海ちゃん



河南地区
やまだ いとは
山田 絃葉ちゃん



桃生地区
ひらつか らら
平塚 来麗ちゃん



河南地区
まくち けんと
菊地 健透ちゃん

石巻市内にお住まいの、3歳くらいまでのお子さまの写真を募集しております。おらいの（私の家の）かわいいアイドルを、ぜひご紹介ください。掲載内容については、「お子さまの写真」、「お名前（よみがな）」、「お住まいの地区名」です。

（写真データサイズは5MB以内）

※ご好評につき掲載までに時間がかかる場合があります。お子さま一人1回限りの掲載となりますので、ご了承ください。

また、兄弟や姉妹での応募の場合、1枚の写真と一緒に写っている画像をお願いします。

【お問い合わせ】本所または各支所まで、電話かメールでご連絡ください。メールアドレス：honsho@ishinomaki-shakyo.or.jp



↑応募はこちらから

石巻市社会福祉協議会 各支所 お問い合わせ先

総務課	〒986-0825 石巻市穀町15-2
地域福祉課	☎0225-96-5290 FAX 0225-96-5223
ボランティアセンター	
生活支援課	〒986-0032 石巻市開成1-26
	☎0225-92-6733 FAX 0225-96-2613
(公営住宅等見守り連携室)	☎0225-23-3911 FAX 0225-23-3912
河北支所	〒986-0132 石巻市小船越字山畑417-54
	☎0225-62-1077 FAX 0225-62-1079
雄勝支所	〒986-1333 石巻市雄勝町雄勝字下雄勝12-42
	☎0225-61-3011 FAX 0225-61-3022
河南支所	〒987-1101 石巻市前谷地字黒沢前35
	☎0225-72-3725 FAX 0225-72-2408
桃生支所	〒986-0313 石巻市桃生町中津山字八木157-1
	☎0225-76-1020 FAX 0225-79-1018
北上支所	〒986-0202 石巻市北上町橋浦字大須215
	☎0225-67-3025 FAX 0225-61-7024
牡鹿支所	〒986-2523 石巻市鮎川浜清崎山7
	☎0225-45-2684 FAX 0225-45-2785

いしのまき社協だよりについてのアンケートにご協力ください

いしのまき社協だよりをご覧いただき、ありがとうございます。みなさまに身近な福祉情報をお届けするために、アンケートへのご協力をお願いいたします。

【回答期限】

令和8年3月26日(木)～4月30日(木)

【回答方法】

右の二次元コードを読み取りご回答ください。

